和書門
類
二九三一五 號
一七 函
一三 架
三五 冊

内閣文庫
和書 類
二九三一五 號
三五 冊
一七五 函
一七二 架

内閣文庫

番號	和	29315
冊數		35（15）
函號	175	172

地五七

十五

福山志稿巻十五

邑里第五

川北村

福山ヨリ一里十四丁東北ニアタル村東西十七町一十八間南北十町四十五間申明亭榜示七枚アリ

水野家ノ時福島家ヨリ引渡帳ニハ川南川北一村ニテ麓村ト云西邊ニ二十軒屋ト云所アリモト人家アリテ一村落ナリシノ村中ニ高屋川流レソノ南ヲ川南分ト云シヨシナリサレハ麓村ト云ハ山ニチカキ所ノミナルヘシ

内一一〇一五號

一、今驛用テ南北二村ニテ供シ二村ヲ神邊ト云
ムカシ神邊ノ庄ト云ハ岩成ヨリ東諸村ノ總
名ナリシヨシナリ

神邊驛

カンノヘ亦カンナヘトモ云西國ヨリノ先觸状
ニ神名邊トカキタルモアリ

今按神邊明神ハ事代主命ヲアハセ祭ルユ
ヘ神奈備尓坐須事代主命ト云出雲國造祝
詞ニヨリテ庄ノ名トスレドキコユ神奈備ヲ
神邊トモカクヿ仙覺万葉抄詠鳴鹿歌ノ條

ニ三諸之神邊山尓ヲミミつしろのかミへの
やまにト傍訓シテ抄ニ云此句古点ニはミ
むろなるかミのへやまと点すミむろのか
ミのく山ソまさきしもそよそにおわつか
なしよりて和換(ハシカヘテ)云ミむろのかみなみ山と
云へしミむろれのみなみと和すへきすハ
祝れ字をしよめしも所にまさしのしくひし
まあり備の字いるれしもところにまさか
ひくゆくすむひし悔くつまつねのち
らひなりこれ同内ね通るり尋云ひく悔く

かんなびは不審なし神邊ハかみなへかゝ
みつをかみひとハいふとも文字ハ見へさ
るなをよみかくしてかみなみとなせるを
ハいかゞ心得つ答云此事まことにさ
つねられたるに似たりしかれども萬葉
の因之傍例によりてよめるなりくはしくハ海
上にかけるうみのことゝいふへし海の義な
りくはしくしるす故かくと云ふ上この如とい
ふへし志のれしこるかしこいふ田上山
をかみやまと云へし志のれしもとるな如

こ山とよむこれぞゆるのとなしとよふ同内の
男部をよふなり更に不の有る不審云云歌枕
名寄ニモ神邊山ノ注ニ或抄云神南備山也
案云神之邊之山ニ可和歟是只神南備山之
雙本也但先達歌枕神南備山之外無之神ノ
山ト云云両條ヲナシク大和ノ神南備ヲサ
シ云ナリ高橋元赤ト云人旅寐してこそ
きゝしを神なみの驛の秋れすしれこ
忍トヨミシコアリ元赤ハ備中笠岡人同所
小寺清先ニ學ニテ略和書ニ通スコレラノ

書ニヨリシヤ
圖書編并ニ東夷考略ニ備後ノ地名ヲノセ
テ干奴阜ト云アリスナハチカンノヘナリ
鴨祐為コヽニ来レル才物ノ名ニかりころ
もはるのいく日か契りをかむのへのさく
らのをれかかけトヨメリコレラモカンノ
ヘトトナフル意ナリ　今按名蹟考 五字書名 ニか
みるみはもと神戸なるへし其近隣に坐す
本の大社の神戸なり 中略 摂津國八田部の郡
にかんへといふ處あり 中略 かの村ハ生田の

社の近境にあれハ當初當社の神戸なりし
ものへかうへといへるハ云なるへし　又備後國某郡
にかんなへといふ所あり當時神邊とかく
是又同しく神戸なるへし神戸をまなひく
かうへかんへかんのへかうなとかみなみ
かうとよくいへるなりいつれも通語なれ
なるなり 中略 凡万葉集にかきたる文字一様ならず
られ神名備神名火神奈備神南備神名見甘
嘗備甘南なと書り後世の俗称に付く神並
神波神内神邊押部紺部頭部押邊上部上邊

亦こは書たるなりこれら元神戸の轉なる
もあるり（中略）垂仁帝紀云仍更定神地神戸神
戸ハ神社ニ役仕する者の居在の地をいふ
云云トミユココモ豊姫神社ノ下ニアレハ
アルヒハ神戸ナルヘシ
水野記ニ甘濃巖トモカケリ
神邊ハ山陽道ノ驛ナリ（人馬通用）一月ノ内上十五日ハ
川北村ニテ（辨シ）人馬ノ用ヲ務メ下十五日ハ川南
ニ（テ）ツトム休泊ハミナ川北村ニ引受テ本陳ア
リ
福山ヨリ一里十四町木綿橋ノ北塊札辻ヨリ

此村ノ札辻マテヲ云札辻モト川南ノ界ニア
リシヲ寛政元年七日市ニウツス元札辻ヨリ
今津驛ヘ三里三十五町二十間高屋驛ヘ一里
二十四町三十間（アリ）町名古市七日市後町
三日市ハ川北分紺屋町、十日市ハ川南
分ナリ
田畝
百二十八町二反四畝十八歩
内畠四十四町二反八畝二歩
歳額

千五百九十一石七斗一升八合
内畠四百四石四斗九升七合
戸口
戸二百三十六
口千七十七
内女五百三十一僧十瞽二
畜
牛九十馬七
溝渠
高屋川

平野村界ヨリ川南村界マテ堤長千二百六十
一間[此川元來ニテ鴨川ト合流スモト鴨川大ニテ高屋川ヲウツ今ハ鴨川ノ水涸ハ一多ク高屋川ハ常ニ流レ且地勢モヒキキ二ヘ鴨川ノ水高屋川ヘ入ルナリ一小流マタ変遷アリ
天井川
砂川水源中条村、ヨリ出高屋川ニ入ル
箱田川
新川トモ云水源天井川ニ同シ高屋川ニ入ル
ニ川常ハ涸ク
大溝
高淵堰ヨリ出テ湯野川北ヨスキ高屋川ニ入
ル又元藤ニ溝三派アリ道上十九軒屋ノ餘水

捨石溝一 十

捨石ハ堰ヨリ支レ歸谷澗流及平田池ノ溝等ヲ合シ川南ニ入横尾ニテ高屋川ニ入ル

湯

ゾンコ堀ト云紅葉山ノ下ニアリムカシノ壕ノノコレルナリ至小ナリ

或ハコニゾンコト云今アリテツノ人ノ庭池ナリトモ云モト湯ニ竹林古墳アリシガ今ナシ

池塘

平田池

南ト云所ニアリ周三町三十四間半

小池三

水

堰閘

堰三

一ハ捨石ニアリ川北溝側ノ田及川南用水ナリ一ハ大仙房後ニアリ小井手ハ井ノ端箱田川中ニアリ

沼一

元藤ト云村ノ西隅ニアリ偃瀦汗邪ナリ山東ニ沼ト云ハ湖瀦ナリ此ツノ類ニアラス沼ト云ハ村人ノ稱ニシタカフコノ元藤隼屋川中

ヲ傳テ両傍ニアル故川南ニモアリムカシ
ノ[illegible]海ナリナホ辨説ノ所ニ出ス

閘一
捨石井手ニアリ石樋ナリ

橋彴

懸ノ橋
山野往還カケト云所ニアリ板橋ナリ長サ十二間幅六尺七寸五分カケハ川ヨリ北ニアリココニ家アリシヿ甚ムカシノヿニアラス川埋レ水野中ニ溢ルルコトシハシハナルユヘ

人家ミナ堤南ニウツル六十年前八十五六ノ童子水ニ浴スルモノ首ニ壺ヲツケテ游泳セシヲ見及タル人アリ近比マテモ平野サカイナル枠立ト云淵ハヨホトノ間藍色ニテ兒童[illegible]ヲ[illegible]レシ處ナリシカ今ハ浅瀬ナリ此村ヲ[illegible]川北ト云六川深シテ溢サリシサキ人家北ニ多カリシナルヘシ

獨木橋
一ハ大仙房橋ト云大仙院ノ後ニアリ一ハ領家ニアリミナ高屋川ニカカル

石梁三
峪渓

紅葉山

神南備ノモミチ万葉ニ黄葉トカク六如詩集
ニ此山ヲ黄葉山ト云又茶博士栗山五古ニ一
臥黄葉村七絶ニ黄葉村中郷飲酒ト云モミナ
コノ山下ノ村ヲサスナリサレハ黄葉トカク
ヘキナリ

かんなひより帰るときなるのなを
紅葉せしわけ帰るとももみち山わすれよし
きみをまつ来ても見む

渡邉忠

忠ハ豫州人俗稱友左衛門晩ニ剃髪シテ圓
浄ト云

ミ承のうめ見にいきしとき神遊せらく

西山正

いつまても袖の衣たちかへく紅葉山のに
しきをくみん

同

ちらしくいくさかりしところさしく

紅葉山むかしもいまも色ふかくみえ
入る秋をあらそふ

神垣は紅葉々内おもふるやとりかるしき

鴨祐為

山は名はもとちまちつる夕日影さしいるを
しにられもいそりぬ

祐為ハ下鴨祠官ニテ正四位下俗称梨木上
總以有職ノ名タカキ祐之孫ナリ

神垣のまつは紅葉山といふかはりきしく
某くまとしる

伴蒿蹊

かはるあふ君か絹の錦か織る紅葉は山もとそ
ぬらし

蒿蹊ハ近江人畸人傳閑田耕筆等ノ外著撰
ノ書多ク印行ス女文字ノ文ヲ善スルニ名
高シ

日笠

三島

三田尾

亦岩取山ト云イツレモ紅葉山中ノ峰ニテ平

野宇山等ミナ一ツノ山ナリ一説ニ神邉明神
ノ祠モト山ノ東平ニアリ六郡志ニコノ明神
ノ神木紅葉ナレハトテ山ノ名トストヽ云

茶臼山

野中ニアル獨山ナリ西山詩中ニ茶山ト云コ
レナリ

谷二

網付カヘリ

澗一

廟墓

神邉大明神

紅葉山ニアリ祭神三坐豊玉姫命素盞嗚尊事
代主尊ナリ川北川南ノ生土神
延喜式神名帳天別豊姫神社コレナリ
三代實録元慶二年十一月十三日甲辰授備後
國天別豊姫神従五位上
和論語備後國天別豊姫大明神神託云益人
よあめよりなやるわさをつゝしめ地よりなや
るわさをつゝしめく高きをうやまひおきをうち
ひき直きんをそうてく見をやさはなれその

つらゝ神のいきせるらめん社司平佐氏ノ家ニ
傳フル書畧ニ水野家當國御初入之節御立願
依成就御城御鎮守之神と御尊敬あり領主代
代祈禱仕来りけ又福山開城之時地祭等も執
行仕夫ゟ毎月御城之御祈禱申上け散米之し
く白米一石二斗鵝目四貫文宛神納仕けトシ
ルセリ事長ケレハノセス
六郡志云水野家の時ハ湯神楽料として献代米
立られしかとも松平總州侯の時より止ぬと
云又云社司平佐氏ハ吉田家の鈴鹿氏の支配
ありて宮内か父をは鈴鹿右京の大輔といひ
そのゝち故ありて今の姓に改む（宮内ハ今ノ祠官ノ祖父）

八幡宮
古城山ニアリ

小次郎大明神
秋丸ニアリ祭神少名彦名命ト云一ニ小白ト
カク昔吉備尾代ト云人アリ總叙ニミユ小白
ハ和訓ニテ同シソノ人ニハ非ヤ

小祠十四
内ニ青龍大明神アリカケノ宮ト稱スト六郡志

ニふつかゝりの宮うけ小ゑトミユレモ今シ
ル人ナシ或ハコノ青龍明神ニアタレルヤ

塔寺

万念寺
佛見山浄土宗知恩院末寺開基年代シラス福
山開城ノ後證譽上人此寺ヲ移シ建ツ見佛山
大念寺ト号スコレ其跡ナリムカシ豊臣大閤
九州下向ノ時當寺ヘ輿ヲヨセラレ呂紀カ蓮
ニ鴛鴦ノ二幅ヲ賜ハル其畫今ハ福山大念寺
ニアリト云寺ニ黒本尊ト云佛アリモト紅葉
山城内ニアリシヲ福島丹波退去ノ時ツノ聟
ナル牢人畠山氏ニユツル畠山ヨリ又此ニヲ
サムト云　山號モト村尾山ト云
寺内ニ石柱ノ地藏堂アリ戸田屋彌助由椿ト
云者ノ女ノ墓ナリコノ由椿頗豪農ニテ奢ヲ
キワメ嗣子彌以カ代ニ落魄ス今ノ本陳ノ尾
ニ松皮菱ヲツケタルハソノ家ノ紋ナリ法樂
寺ノ觀音堂西福寺ノ地藏堂ソノ外ニモ由椿
カ建タルモノ多カリシカ今コノ三ツノミノ
コル此等ハ年月近ク郷里同シケレハ歴然タ

ルヘキニ村中ニテモ知人ナシマシテ数百年
前ノヿヲヤ往事茫茫一慨スヘシ

光行寺

角圓山浄土真宗光善寺末寺福山ノ城成就ノ
後神邊光善寺ヲカシコヘウツスソノ跡ナリ
モト古城山下ニアリ後今ノ所ニウツス

龍泉寺

新宮山曹洞宗龍興寺末寺此寺モト川南會下
カ窪ニアリ利山道器居士ト云モノ建立ニテ
開山祖堂和尚ナリイツレノ時代ト云ヿヲ知
ラス福島丹波紅葉山ノ城ニアリシ時今ノ返
リ谷ヘ移シ天和年中水野家當城ヘウツラセ
玉フ時参州ヨリ泉龍寺ヲ召連ラレ當寺ヲ宿
トス福山開城ノ後カシコヘ引テ慈雲山龍興
寺ト号スソノ跡今ノ寺ナリ寺中ニ車返シノ
櫻アリ

車返ノ櫻

雪天和尚ト云住持ノ時南都ノ車返ノ枝ヲ折
来リテ接木トスト云桐カ谷ト云櫻ハ八重ノ
中ニ一重ノ花マシレリ花見シ人八重ナリ一

重ナリト云争ヒニ車ヲカヘシテ見タリト云
コヨリ桐カ谷ノ一名ヲ車カヘシトモ云此花ス
ナハチ桐カ谷ナリト云三四十年前ハ花見ノ
ノ人多ク枝コトニ短冊ヲツケテ青葉紅實ノ
頃マテ殘リシニ近頃ハソノコナシ花モ亦昔
ニ劣レリ此寺ノ堂方丈モト東ニアリテ庭ヒ
ロク日影ヨクサシマハリシ時ハ枝條多ク榮
ヘヒロコリテ今ノ玄關マテモトヽケリ堂方
丈ヲ引マワサントセシ時此寺ホトノ寺ハ近
處ニイクツモアリ此花ホトノ花ハ隣國マテ

モナケレハ屋宇ノ大ナランヨリハ花ノ榮ヘ
ンコソ佛モメテ給フラメト云シ人アリケ
レトモ當住禪阜用ヒサリシカ果シテ花ハ衰ヘ
カシケタリト云

加州月坡ト云僧ノ詩ニ
豈不白雲知此閑四隣裏寺住寒山昔年只恨栽
花得吹送香風滿世間
字誤アルニ似タレトモ意ハ通ス

詠哥も小ゆそひく　西山正
むかし法もはくるまかへり谷そも桜れ夫

そふりやぬ

おもしときを　　志村直
八重ひらく色もてぬきれそよ浅ちり流まよ
ひとくらく限小車し

志村名ハ直字敬仲奥州仙臺人後ニ
幕府ヨリ辟シテ書ヲ昌平学ニ講説ス

目黒新左衛門秋光墓

目黒カ事クワシク古戦場ニ出ツ
今按目黒カ墓ト云モノ紅葉山ノ北ノ麓ニ
モアリ此寺イマタ移サレサルサキナラハ
モトノ處ニアルヘシ此墓モ寺ト共ニウツセ
シニヤ

西山正
かすみゆきちかし一あ墓山路は名ハうつりも
れぬ苔の古塚

位牌一
前丹州清閑道徹居士
コレハ福島丹波ナリ筑前福岡士人某江戸
往来ニ必参詣ス丹波カ裔ナルヨシナリ

西福寺

普門山真言宗明王院末寺福山城成就ノ後神邉ノ胎蔵寺ヲ吉津ヘウツスコレソノ跡ナリ

過西福寺住僧不在　西山正

不管山僧閑與忙探梅看竹借禪床爐頭半日吟詩去滿院松濤滿鼎香

藥師堂

七日市ニアリ御濱山長福寺ト云号アリ山伏大仙院ノ持ナリ堂ハ十年前ニ焼失ス佛像ノ外ニ立烏帽子着タル像一ツ裝束シタル婦人ノ像一ツ七條ノ袈裟カケタル僧ノ像一ツアリイカナル人カシレス近比ノ火災ニ木像ハミナ焼タリコノ脩驗昔ハ著レタル家ニテ此ニ城アリシ時ハソノ城ノ祈禱ノ事等ヲ司ルト云コノ像アルイハ脩驗カ一族祖先ノ人ナルヘシ六郡志ニ白河院御建立ノ棟札アリト云領地モト多シ福嶋ノ時ナホ拾五石アリシト云

小佛屋一

憩亭三

カヘリ谷　秋九カケ

題歸谷憩亭　西山正

攀岩曳杖下峥嵘懐古情兼暮靄生還有同人記
遊渉倩毫先補旧題名

古蹟

穴海
穴濟

倭武尊ココニテ悪神ヲ平ケ玉フコ日本紀ニミエ元藤ノ北邊マテ入コミシ海ナリ辨説ノ條ニ詳ナリ

紅葉山城

陰徳太平記ニハ神邊道ノ上ノ城トアリ道ハ九州街道ヲ云ナリ

開創淺山備後守條就

備後古城記ニ建武二年乙亥十一月二十六日城ヲ築ト云

今按ニ太平記ニ淺山備後守備後ノ國ノ守護職ニ補セラレテ下向セシトキ児島高徳ト兵ヲ合セテ備中國福山ノ城ヲ攻シコミユ　天皇船上ヨリ還幸ノ時朝山五郎家就一作義連後拒タリシコ参考太平記大日本史ニミエコノ人ノ一族ナルヘシ條就コノ

後イツノ頃マテ在城セシヤ詳ナラス大日
本史山名時氏傳ニ十七年壬寅夏六月、使富
田直貞〈富宮恐誤〉略備前備中備後、十九年時氏使
人請義詮曰、臣與將軍、舊無疑嫌、今所以起兵、
將討佐佐木高氏、以懲後耳、願將軍幸赦臣擅
起兵罪、賜以臣所略定諸國、則效節有如前日
也、義詮喜曰、山名降、則中國平、官軍衰矣、乃赦
之云云トミエ程ナリ降参メ略セシ國國ヲ
乞受シヲミレハコノトキ備後ヲ領セシナリ
サレハ淺山條就ハ正平十七年以前ニ亡シ

ニヤ鹿苑院殿嚴島詣ノ記ヲ見レハ山名一
族備後ニ在城セシコアキラカナリ
源貞世鹿苑院ハつくしま詣の記ニ今日備
後より山名宮内少輔まいれり海のほりよ
尾道を過らんとせさす海き中にて父の左京
太夫保豫なるハやまひなよりくふ条ト云云
山名全盛シテ十一ケ國ヲ領シ六分一殿ト
稱セシトキアリ備後モソノ内ノ一國ナル
ヘシ左京太夫ハ時氏ナリ宮内少輔ハ時氏
十一子ノ内ニミエス後ニ宮内少輔氏興ヲ

ナシキ氏政ミユ或ハ氏清氏重等ニコノ稱アリソレヲ襲稱セシ裔孫ナラン

山名近江入道大休

備後古城記ニ嘉吉三年八月四日城ヲ再築クト云按ニ山名カ一族明徳ノ亂ニ亡ヒテ國ヲ失フソレヨリ嘉吉三年マテ凡五十餘年ノ間何人カ領セシニヤ氏清亡ヒテ時熈氏時ノ二人ハ将軍ノ御方ヲ勤メシカハ一族ヲハナレテ國ヲ賜ハリ氏家モソノ時ノ亂ニアツカルトイヘモ故アリ罪赦サレテ三家起レリ宗全入道ハ時熈カ子ニテ嘉吉ノ亂ニ赤松性具カ白旗山ノ城ヲ討ヤブリテ性具ヲ誅ス其功莫大ナレハトテ播摩ノ國ヲタマハリ一族モ勲賞行ナハレテ此時ニ元ノ如ク備後ヲモ賜ヒテ一族近江入道大休ヲ置シニヤ後太平記ニモ大休カコ見エス應仁ノ頃宗全カ領スル國三箇國ト見ヘテ重修應仁記讀史餘論等ニ宗全カ勢但馬播摩備後並ニ諸國ノ被官三万餘人トアリコレヲ以テ見ルニ古城記ニイヘル入道

大休嘉吉三年城ヲ築クトアレハ嘉吉ノ功
ニ備後ヲモ賜ハリシナルヘシ應仁ノ亂ニ
ハ備後ハ山名彈正是豐カ領セシト見エタ
リ宗全三ケ國ノ領主トシテヲノレハ但馬
國ニ居城ヲカマヘ備後ヘハ是豐ヲ遣ハシ
テ置シナルヘシ應仁別記重修應仁記山崎
天王合戰ニ記スル所ノ始末ヲココニ出シ
テ後ノ考ヲマツ（是豐ハ宗全カ次子之）

山崎天王山合戰之事（應仁別記重修應仁記）

于斯先年ヨリ山名彈正是豐ハ一族ヲ離レ
テ御所方トナリ攝州兵庫ニアリケルカ京
都ヘ上リ東陳ニ（細川勝元）カヲ合スヘシトテ山
崎ノ天王山ヲ城郭ニ拵ヘ先ツ是マテ攻上
テ彼城ニ楯籠リ上ト下トヲ相抱ヘテ西陳
兵粮ノ道路ヲ遮リトトメ淀鳥羽八幡ヲ攻
ケレハ山名方ヨリ受手トシテ畠山右衛門
佐義就西ノ岡ノ勝龍寺ヲ陳城ニ構ヘ是ヲ
防ク大内政弘モ上山城ノ狛（ママ）ト云所ニ城ヲ
構ヘ究竟ノ兵ヲ遣シ置キ山崎ノ敵徒淀邊
ヘ働カハ押留メント支度シテ己ニ合戰ニ

及ハントス然ル處是豊カ領地備後國ノ住人山内新左衛門カ館ヘ宗全入道ノ留守ニ置レシ一族宮田備後守多勢ヲ率シ攻来テ備後蜂起ノ由ヲ告ル敵モ敵ニコソヨレ急キ是豊下向シテ此敵ヲ追拂ヒ領國ヲ平治セシヨシシキリニ東陳ヘ訴状セシム其時御所ノ評定ニハ是豊ヲ下向サセ山崎ヲ其ママ置ナラハ敵ニ取レテ悪カルヘシ赤松次郎政則人数ヲ割分ケ番替リニシテ彼城ニ可指置由上意トシテ被仰下時ニ政則ハ

當陳受取ノ持口差抱エル上又山崎ノ城ヲ守リ難キ由再三辭退ス勝元政長畠山意見ヲ加テ申サルルハ山崎ノ構ヘハ第一武功ノ入ル處是ヲ守ルコト軍忠此類ナシ其上先代ニ貴方ノ先祖圓心義兵ヲ揚ラレシ始此處ニ攻上テ關東ノ大将名越尾張守高家命ヲ隕テ終ニ両六波羅攻落サレヌ吉例ト云分明ナレハ辭退セラルヘカラスト様様ニ諫メケレハ政則スナハチ領掌シ山崎ノ要害ヘ番兵ヲ出シ置ハ是豊即日備後ヘ下向

シケリ（下略）コレヲ以テ合セミレハ備後ノ國
ハ是豊カ領國ナリシヿ疑ナシ山内ハ今岡
村ニアリ宮田ハ山名カ一族ニテ八ツ尾ノ
城ニアリ

山名宮内少輔興氏（後太平記ニハ氏政ニ作ル）
後太平記三十八ニ備後國神邉ヲハ山名宮
内少輔氏政當國ノ探題職ニ補セラレテ在
城ストイヘトモ去天文七年七月大内兵部卿
義隆卿ノ為ニ誅セラレテ行方シラスト云

杉原宮内少輔忠興（備後古城記ニハ山名宮内少輔トアリ殘太平記後太平記並ニ杉原トアリ）
殘太平記ニ天文七年七月大内義隆ノ為ニ
山名興氏ヲ追出シテ其勲賞ニ神邉ノ城ヲ
賜ハルト云
陰徳太平記ニ大内義隆富田發向ノ時ヨリ
雲州尼子晴久ニ属シ威ヲ震ヒ天文十七年
大内家ヨリ大軍ニテ攻来リ平賀太郎左衛
門隆宗ト同シキ十九年十月マテ三年ノ間
對陣シ平賀ニ城ヲ渡シテ雲州ヘカヘルト
云六郡志ニハ理興トアリ事總叙ニ出ツ姓

名ノヿ辨説ニミユ

平賀太郎左衛門隆宗
六郡志に天文十九年より弘治元年まて城主たる事六ケ年と云
今按ニ大内記ニハ神邉ノ陣ニ死スルトミユレハコヽニアリシハソノ子弟一族ナルヘシ事平賀ヵ傳ニクワシ

杉原播摩守盛重
六郡志に杉原理興城主として雲州へ退きし後毛利家へ降参して神辺へ帰城を願ふよりて元就平賀隆宗をめしはなされて又理興に[illegible]けり弘治元年ふたゝひ城主となりけり同しき三年四月理興卒して子なし山手此城主宗圓盛重をもて家督を續しむ盛重是より杉原播摩守と名のりて居城し毛利に屬して西國中國所々に軍功あり永禄十二年盛重吉川小早川に隨ひて立花に趣き大友宗麟と對陣せしその留守に山名か家来備中國の住人藤井能登守入道皓玄かために城を攻とられしか盛重か

ゐる所杉原肥後守又攻落して城を取りし

ルヲ
今按宗岡クヿ誤アルニ似タリ辨説ノ所ニ
クワシ

藤井能登守入道皓玄

一本古城記ニ皓玄所原カ為ニ没落シ降参
シテ大門村明智山ニウツルト云

杉原彌八郎元盛

六郡志ニ曰元盛天正九年十二月二十五日伯
州八ツ橋ニて卒ー嫡子弥八郎其家をつく
元盛天正十年十月弟又次郎景盛か為に殺
されけれは吉川小早川その罪を糺して景
盛を誅し猶遠此城あしくかれ杉原少輔
五郎ニ三千貫の地をあたへ名跡とし其の
のち此城を毛利の家臣交代してあつかる之

毛利大蔵大輔元康

備後古城記ニ天正年中ヨリ文禄年中マテ
居城ストモ云毛利家中ニテ交代セシ時ナル
ヘシ

福島丹波

福島正則ノ家臣ニテ禄三万石ヲ食シテ家老ノ第一タリ慶長五年安藝備後四十九万八千石ヲ正則ニ賜フ正則藝州廣島ニ在城シテ丹波ヲ神邉ノ城ニヲク慶長五年ヨリ元和五年ノ間在城シ正則國除カレシトキ丹波ハ京都ニ退隱シテ終ル事總叙ニ詳ナリ

水野日向守勝成

元和五年備後備中ニテ十万石給ハリ神邉城ニ来リ其年福山ニ新城ヲ築キテウツリ給ヒシヨリ此城廢ス

今按ニ備後ノ治安那國品治國ナド國造ヲタテラレシ寸ハ茫茫トシテツタフルコトナシ國司國府ニ交代セシヨリ鎌倉守護ヲ置ニイタルマテハコノ國文獻タラサルモ佗國ヲ推テシルヘシ梶原服部ニ居セシヲミレハ守護ハ要害ニエラヒ據テ國府ヲ忽トセサルニヤ承久ノ亂ヲ経テ國司ノ号令行ルヿ處スクナク守掾モ多ハ未公文ノ授領ノミナレハ府中ハ漸漸ニヲトロヘシナル

ヘシ建武ニ淺山備後ノ守護職ヲ命セラレ
ハシメテコヽニ城キシヨリ山名ツツヒテ
神邊ニ據リ備後三十六城ノ探題ト稱スレ
ハ神邊治所トナルヿ久シ中条寒水寺ノ記
録ニ本尊ノ開帳永正丁亥九月十八日ヨリ
シ丁丑佛生日開帳セシヿミユ同寺棟札裡
ニ山名ヨ一分殿ト云シ卄神邊人家多ク開
帳繁榮ナリシヿヲシルス又殘太平記ニ木
屋次郎長宗神邊ノ庄ニテ學問セシヨシヲ
ノスコレラニテソノトキノ光景想フヘシ

山名逐出サレシ杉原ニカワリシトキハ大内
尼子衛ヲアラソヒ諸嶋主モコレニツムキ
彼ニシタカフ故勢カ既ニ半國ニモ及ハス
ヤカテ毛利トナリ福島トナリ又今トナル
治所ノ沿革大抵カクノ如シ

古城山

上利右近年代シラス
備後古城記ニ上利マタ登トカク山名カ臣（朱書：ニ従）
サヽ（朱書：カフ）可城ハ平野村堺ノ小岡ナリ
（朱書：今按ニ又上里氏カク三吉ト同家ニテ行成卿ノ裔之）

杉原屋鋪跡

六郊志小神遷大明神の東小あり并あり長刀一振蔵てありと云

天徳寺跡

龍泉寺前ニ天徳寺ト云畠アリ備中横谷東正寺ノ末寺ノ一刹ナリシカ福島領ニナリシ時イカナル故ニヤ播州ニウツリ其後大坂天満北寺町ニウツシテ今モ存ス

秋丸

平賀太郎左衛門安藝ヨリ出丸ヲカマヘシヲ安藝丸ト云シヨリ名ツクト云一説ニ平賀カ杉原ヲ攻シ時ノ向城ハ曽根原ニアリト云秋丸ノ茶臼山西ハ徳田村ナルハ同シ所ナルヘシ

壕田

城アリシ時ノ壕ノ跡ナリト云大閤屋鋪ノウシロヨリ妙立寺ノウシロマテ續ク

的場

城アリシ時ノ騎射ノ稽古場ナリト云古市ノ北ノ堤下ニアリ

鐵炮町

今ノ平佐大宮司カ宅ノ側小路ナリ鳥銃ノ稽古場ナリ

領家

東鑑ニ國ニ國司庄ニ領家者大略在京也ト云文アリ式目諺解ニ領家ハ領主ナリ家ハ公卿ノ美稱ナリト云領家ト云所ココカシコニアリ公卿ノ領セシ莊村ニ役人ヲヨキテ支配セシムル所ヲ云コノ處モムカシ其出役處アリシ處ナリ

大閤屋鋪跡

本陣ノ向ヒニテ今ノ札辻ノ處屋鋪ノ南端ナリ備中笠岡亀川平助本姓髙橋ニテ先祖某モト神邉ノ人ナリイツノ頃カ彼所ヘ移ルコノ家神邉ニアリシ時大閤ヤトリ給ヒテソノ時ノ幕膳椀浴衣ヲアタヘ玉フ家ニツタヘヲサメシカ尊貴ノ物庶民ノ家ニツキツキシカラストテ氏宮ヘ奉納シ今尚アリ近キコロマテ此家ノ田地神邉ニアリシカ今ハ人ニ讓リシト云尾道ノ小川某ト云者コレモ太閤ノ御宿ニテ神邉マテ送リ来リココニテ物ヲ賜ハリ

シヿ尾道ノ記録ニミエ膳椀等ノ圖附録ニミ
ユ

御茶屋屋鋪

三日市ニアリココニテ薩摩侯ヲ饗セラレシ
ヿアリ五十年前ナリ今ハコホタル

甲辰三月十七日赴神邊驛途上　　西山正

竹兜經過程海濤芒鞋取路向山林幽人獨愛三
春晩不問紅芳問緑陰

同

川上晩歩分韻

日落茶山外翠光隔水多欲吟磯上月其奈暮寒
何（茶山ハ秋九山ヲ云）

十八日次韻道光上人留別作

同

山驛餞君兼餞春斯情最是屬吾人同遊何日償
前約仙跡靈區共問津

二十四日賦贈主人

川南川北探餘花日日逢迎醉紫霞羨爾平生無
俗累交遊強半是僧家

川南村

福山ヨリ一里十四丁東北ニアタル村東西四十二町八間南北十六町八間

田畝

百九十七町三畝二十五歩

内畠五十三町二反七畝十八歩

歳額

二千五百九十九石三斗四升

内畠四百六十石四升九合

戸口

戸三百十三

口千二百九十五

内女六百二十七僧六瞽一外茶筅三

畜

牛百四馬十八

溝渠

髙屋川

川北村界ヨリ加茂川マテ堤長八百七十間

加茂川

堤長七百間

岩田谷川
丙谷川
丁谷川
ミ十澗ナリ
大溝
三泒ミ十高屋川ニ入ル
池塘
栗ヶ池
周十三町二十三間
豊田池

周五町五十八間
奥池
周三町四間
丙池
周五町十二間
小池七
堰閘
堰三
早田平井手　加茂川平井手　曲柳平井手　今廢
ス

閘七
早田井手　曲柳三　加茂川　片山後　古川
橋彴
石梁七
圯四
木橋三
天井川尻　オノ木　二十間屋
山溪
丙山
丁山

岩田山
猿ツ子山
長畠山
此山東ノ尾松茸山アリ名目多シトイヘ𪜈一
山ナリミトリリト云峯最高所ナリ
片山
獨山ナリ一名漆山ト云此アタリニテ田ヨウ
ヘルモノタマタマ小瘡ヲ生スル故コノ名ア
リト云
矴山

獨山ナリ元藤沼ノ中ニアリ沼堤高クナリテ平田トナル六郡志ニ小むら八北をこな海な
り我山の石も石華敷もみをめこれりしぬ

澗三

廟墓

八幡宮

丁谷ニアリ

艮大明神

丙谷ニアリ

八王子權現

猫兒山ニアリ紺屋町早田等生土トス寒水寺記録ニ二十間屋村新開トナリシ井鎮守ノ八幡ヲ乞テ氏神トスソノ後社ヲイカリ山ニウツストモ云御圖帳ニモココニ八幡社アリ六郡志ニモミエテ今ミエス

小祠十一

塔寺

妙立寺

法晶山法華宗本法寺末寺由緒書ニ應永ノ頃日親上人開基ナリ事上人徳行記ト云書ニ分

明ナリト云モトハ寺領ヨホトアリシヨシナリ

光蓮寺

藥上山浄土真宗西本願寺末寺了波寛永ノ頃今ノ處ニウツシ建ツ古ヘ祐佳山浄玄寺トテ傳教ノ弟子徳應開山天台宗ナリ十世行圓ト云ニ至リ真言宗ニ改ム又九代了明ノ時存覺上人来寓シ教ヲ弘ムヨツテ存覺ヲ開基トス了明ヨリ今ノ宗トナリ了波ト云時今ノ名ニアラタムト云

寄光蓮寺贈利主嶺松上人

僧寰海 佛通寺西足院住持 福山人

祇林深處問支郎杯酒相邀宿上方酔語生眠吾且卧莫言之子倦津梁

中秋光蓮寺分秋月揚明輝為韻得明字

西山正

前峯吐月洗塵城還喜禪關頻見迎万籟笙竽三界寂千秋色相一輪明盛筵且許杯中物勝景偏知象外情莫道鐘樓撞未得清光兼遍貫休声

二十二日光蓮寺靈昌上人見招席上分雨嘯園十題余得彩霓橋

鑑流橋幾尺架此瑶池水間踏彩霓過諸天知在通

即事呈靈昌上人

鳥啼花樹晩離披雨嘯園中雨霽時想得去年今日宴依然韶景對吟卮

小佛屋七

内丁谷ニアルハ川北龍泉寺ノ庵ナリ杉原ノ時ハ大寺ナリシト云矸山ニ有ル鐘撞堂アリ

憇亭五

岩田谷ニ　丙谷　丁谷　早田

鄕葬一

ムカシ淨玄寺ト云寺アリシヲ今ノ光蓮寺ニ移セシアトナリト云六字名號石アリ小石ニテウテハ鳴ルコト鉦ノコトシ

古蹟

白雲山東林寺

本尊觀音水野記ニ明德ニ山名持氏百貫ノ地ヲヨス毛利ノ代マテ同シモト六房アリシカ天正中削ラレ本末盡ク滅亡シ寛永十六年ニ只一房ノミ存スト云今ノ上人ニ問ニソノ所ヲシラス或ハ丁ニアル庵本尊オナシケレハ一

鑑流橋幾尺架此瑶池水閒踏彩霓過諸天知在

遍

即事呈靈昌上人

鳥啼花樹晩離披雨嘯園中雨霽時想得去年今
日宴依然韶景對吟卮

小佛屋七

内丁谷ニアルハ川北龍泉寺ノ庵ナリ杉原ノ
時ハ大寺ナリシト云矴山ニ有ル鐘撞堂アリ

憩亭五

岩田谷ニ丙谷　丁谷　早田

郷葬二

ムカシ浄土寺ト云寺アリシヲ今ノ光蓮寺ニ
移セシアトナリト云六字名號石アリ小石ニ
テウテハ鳴ルコト鉦ノコトシ

古蹟

白雲山東林寺

本尊観音水野記ニ明徳ニ山名持氏百貫ノ地
ヲヨス毛利ノ時マテ同シモト六房アリシカ
天正中削ラレ本末盡ク滅亡シ寛永十六年ニ
只一房ノミ存スト云今土人ニ問ニツノ所ヲ
シラス或ハ丁ニアル庵本尊ナナシケレハ一
房ト云ハ恐クハツノコトナルヘシ同處ノ奥
ニ會下ト云所アリ恐クハ本房ノアリシ處ナ
ラント云

二十二日光蓮寺靈昌上人見招席上分雨嘯園十題余得彩霓橋

鑑流橋幾尺架此瑤池水間踏彩霓過諸天知在通

即事呈靈昌上人

鳥啼花樹晩離披雨嘯園中雨霽時想得去年今日宴依然韶景對吟卮

小佛屋七

首立場

千田村ノ界湯坂ニアリ杉原ノ時磔場ナリト云立木ノ森ト云

餌サシ町

先蓮寺ノ南ノ小路ナリムカシ鷹師鳥サシコヽニスム水野家ノ時マテモ田獵ノ役ツトムル人ハコヽニ置カレシヨシナリ

牢屋小路

紺屋町ニアリ

御茶屋々鋪跡

小屋ノ内ナアリシナ云今其所サタカナラス

上小屋下小屋

イツレモミナ城アリシトキノ用所ナリ

穴海

別見

徳田村

福山ヨリ二里北ニアタル村東西十五町二十八間南北十三町三十間北公領本郡箱田村ニ接ス

水野家ノ時福島引渡帳ニハ曽根原村トアリ其後今ノ名ニアラタム明細書ニ村中ノ牛馬育セス百姓困窮ノ由ヲ披露ス乃チ福山両社

八幡宮ニテ牛馬繁昌ノ祈祷アリテ此時ヨリ
徳田村トアラタムト云寛文年中トアリ
田畝
百六町七畝十三歩
内畠三十三町七反五畝十三歩
歳額
千五十九石六斗九升二合
内畠二百四十八石五斗八升
戸口
戸百六十二
口七百七十
内女三百九十八僧四瞽三
畜
牛五十六馬九
溝渠
箱田川
箱田村界ヨリ川北村界マテ長七百五十八間
天井川
箱田村界ヨリ川北村界マテ長七百五十八間
六反田川

上西中条村ヨリ出川北村ニテ高屋川ニ入ル
長千二十六間

中川
上西中条村ヨリ出道ノ上界マテ堤長六百三
十四間四川トモニ雨後ニ非サレハ水ナシ

池塘

沙原池
周六町十間

下ノ池
周四町六十二間

半山池
周五町十間

ヨリ口池
周五町十間

梅木池
周三町三十間

赤地池
周五町

堰二
堰閘

橋彴

石梁二

廟墓

天神宮

生土神要害山ニアリ寿永造営大内義弘社領二十五貫ヲヨス毛利ノトキマテ同シ

權現社

田中ニアリ十九軒屋村ノ生土神祭神一坐石

凝姥命

八幡宮

モト宮ニアリ

大明神

中島ニアリ

小祠十六

塔寺

寶泉寺

亀居山真言宗明王院末寺中興ハ宥辨時代シラ
ス

憩亭五

善正寺　土居　中島　中原　砂原

古蹟

茶臼山城

北山西ハ此村南麓ハ川北村ニテ秋九ト云秋九ノヿ其村ニシルス東麓ハ湯野村ノ分ナリ一本古城記ニハ天神山トアリ今明細書ニシタカフ

宮若狹守 備後古城記

山名清左衛門尉 同上

平賀太郎左衛門尉隆宗

一本古城記ニ平賀隆宗天文十七年ヨリ十九年マテ三年ノ間神邊黄葉山ノムカヒ城トシテ住スト云事別見

宍海

コヽニテモ元藤ト云川北ノ條ニ出ツ地名ニ中嶌ヲヨヒ濵マタ濵田ト云アリ

十九軒屋村

福山ヨリ一里十八町北ニ直ル此村地面両處ニ在テ其間離レ隔タルヿ九町ハカリ東ニアル地東西二町四十間南北六町五間闌識アリ西ニアル地東西二町四十間南北三町十六間

田畝
十七町六反二畝十二歩
内畠二町五反八畝十歩
歳額
百八十石一斗三升五合
内畠二十一石三斗六升
戸口
戸二十一
口百十五
内女五十八僧一
畜
牛九馬二
溝渠
中川
村内堤長四百八十間下川南村ニテ高屋川ヘ入ル
蕩一
周四丁二十間
池塘
池一

周三町四十九間半

塘一

長三百三十六間元藤沼ノ漲溢ヲ防クナリ

塔寺

憩亭一

中条街道ニアリ

古蹟

穴海

元藤沼此村ノ南端ニアリ

今按ニヲヨソコノアタリミナ平地ニテ十

三軒屋十九軒屋二十間屋三間屋等ノ名地名ニ非サレハイツレモ新ニ出来タル村里ニテ川北ノ元藤北ノ丁中ノ丁南ノ丁川南ノ元藤一二ノ丁ヨリ十一十二ノ丁ナトヲアワセテミナ穴海ノ地ナルヿアキラケシ

十三軒屋村

福山ヨリ一里十八町北ニアタル村東西四丁三十二間南北四町五間

田畝

十五町八反四畝十七歩
内畠一町五反一畝十四歩

歳額

百六十九石九斗三升二合
内畠十一石四斗八升五合

戸口

戸二十一
口百十九
内女五十四僧一外乞食二

畜

牛六馬一

溝渠

井溝川
モト戸手村ヨリ葦田川ノ水ヲ引ク今ハシカラス数渠ヲ合〆高屋川ニ入ル

廟墓

小祠一
生土神

塔寺

憩亭一

道上村

福山ヨリ二里十四町北ニアタル村東西十二町南北十八町東北公領本郡西中条村ニ接ス

闕識アリ

今按ニムカシノ山陽道ハコヽニテ今ハ石州銀山ヘノミノ路トナルソノ道ノ上ナルユヘコノ名アリ

田畝

百三十七町二反八畝十歩

内畠五十四丁五反二畝二十歩

歳額

千五百二十八石三升二合

内畠三百四十七石八斗一升四合

戸口

戸二百十五

口千二十六

内女五百三僧三瞽一

畜

牛八十五　馬十二

溝渠

加茂川

下岩戌村界ヨリ此村分堤長百三十七間

中川

此川西堤ハ此村分長六百間徳田村ヘ流ル

小谷川

十念谷ヨリ出長七百七十間

小藤川

八軒屋村界ヨリ此村小谷川ニ合ス長四百八十間

門前谷川

此村門前谷ヨリ小谷川ニ合ス長五百間中川以下ミナ細流ナリ

池塘

岡山新池

周五町四間

岡山池

周五町

渡瀬池

周五町三十六間

十念池
周三町二間
小池九
堰閘
堰七
閘二
門前樋
鮟鱇樋
小藤ニアリ箱深サ四尺八寸内法横三尺一
寸幅一尺四寸水八十三軒屋六分十九軒屋
四分本村ハ臨時會議シ各日ヲワカチテ引
用ユモト服部水ヲ數村ヘ分チトリシ樋ナ
リシカ今ハ下加茂八軒屋二村ノ遊水ノミ
流ルト云閘尾ノ水ハ井溝川ニ入ル凡此ア
タリノ小川ミナ高屋川ニ入ル
橋彴
石梁八
山溪
谷四
廟墓

岡山大明神
生土神岡山ニアリ祭神三坐吉備津彦命吉備津姫命　孝霊天皇一宮備中ヨリウツリタマヒシトキコヽニテ一宿アリシ跡ト云此宮ニ曽一弓一槍一文書一アリ百姓磯村忠右衛門先祖越後浪人水野家ニ仕フ農トナリシユヘ家ニヨサメス奉納ストヽ云附録ニ出ス

八幡宮
岩嵜ニアリ

小祠十九

「水野記ニ正治中國司下向ノ時タツ後大破ニヲヨヒ宮若狭守再興百貫ノ地ヲヨストヽ云

護國寺
塔寺
高木山真言宗東中条村廣山寺末寺「コノ寺ニ塔ノ跡アリマタ門前ナトヽ云所アリ古寺ナリ聖武ノ國分寺ヨソラクハ此寺ナルヘシ
辨説ノ條ニ出ス

浄光寺
清曜山浄土真宗光照寺末寺モト禅宗ニテ浄禅ト云モノ開基スソレヨリ九代慶善ヨリ今ノ宗トナルコノ人中条ノ塢主ニテ小林氏ナ

リト云
憩亭十一
市楽 岡山門前 岡崎 鴨 市場 十念
渡瀬 岩崎 嶺 鍋屋

八軒屋村

福山ヨリ二里北ニアタル村東西四町十六間
南北五町四十七間
田畝
十四町九反三畝十七歩

内畠二町三反三畝二十一歩
歳額
百三十四石三斗七升四合
内畠十一石九斗六升二合
戸二十三
戸口
口百九
内女四十七瞽一
畜
牛八

溝渠

服部大池溝川

中野村ヨリ流来リ長二百十五間小藤川ニ入ル

池塘

小池一

橋彴

石梁八

廟墓

荒神社

下ノ曽根ニアリ

塔寺

慧亭一

上加茂村

福山ヨリ二里十四町北ニアタル村東西五町南北九町二間

此村ムカシ上下ニ分タス寶幢寺ヲ名主庄屋トシテ貢税ヲ沙汰ス役僧七ヶ寺アリ加茂ノ七坊ト云今跡ニ四ツ堂ヲ建ツ寺名ハ其所所

ニノコレリ上加茂ニテ大聖寺閻王寺下加茂村ニテ迫ノ坊西ノ坊元法寺傳法寺徳圓寺コレナリ

此迫ニナ加茂谷ニテ芦原村ハ加茂芦原中之村ハ加茂中之村ト云キヲ畧シテ二字ヲノソク
今按ニ庄加茂ト云所ハ三十下上鴨明神社領ノヨシコノ國ニモ有福庄ソノ地タルコト東鑑ニミユ

田畝

四十五町九反二畝十二歩

内畠十一町八反三畝十六歩

歳額

四百六十四石二斗二升七合

内畠七十五石五斗二升二合

戸口

戸七十二

口三百三十二

内女百七十八

畜

牛二十六馬三

溝渠

加茂川

中野村界ヨリ下加茂村界マテ東堤二百二十間

池塘

藤原池

今菱原池トモ云周六町三十間

小池四　堰閘

閘二　橋彴

石梁三　山溪

嶺一　羽破峠　道上ニ通ス

谷四

廟墓

羽波大明神

羽場トモ幅トモカク祭神社家由緒書ニハ見エス谷中数村生土加茂明神ナリミヲ別ニコノ村ノ生土トテ建タリシ祠ナラハ加茂明神ニハアラスヤアルイハコヽニアリシ神祠ヲアラタニ生土トセシニヤ辨説別ニミユ

小祠八

一塔寺

憩亭五

圓融寺　大聖寺　神田　羽波前　原ヶ市

中野村

福山ヨリ二里二十町北ニアタル村東西四町二十六間南北九町三十六間東北公領本郡西中条蘆原二村ニ接ス關識アリ

田畝

五十町六反六畝一歩

内畠十六町八反四畝二十七歩

歳額　五百八拾四石六斗九升五合

五百八十三石九斗九升五合

内畠百三十石五斗九升四合

戸口

戸百

口四百四十五

内女二百三十四　僧二　瞽二

畜

牛三十八　馬五

溝渠

加茂川

上蘆原村ヨリ上加茂村界マテ堤七百九十間

池塘

大惣津下池

周二町五十六間

七社池

周六町二十八間中津領北山村ノ内ニアリ

姫谷池

周六町十六間百谷村ノ内ニアリ

蓑原池

周六町五十二間

小池四

堰四

堰間

圯一

橋杓

笠岡街道西屋渡リニアリ長八間

廟墓

此村蘆原村加茂大明神ヲ生土トス凡此数村ミナ加茂谷ノ内ニアリ加茂ト稱スル所上下

二村ニカキラスサレハコノ祠此アタリノ惣
生土ナルヘシ
貴布祢大明神
馬木ニアリ祭神罔象女命ナリ
小祠二十六
塔寺
憩亭六
多田　家ノ前　高木　栗ケ市　坂ナシ　勧
所端
古蹟

天神山城
内藤伊賀守宗久 備後古城記
一本古城記ニ明應年中父伊賀守久安防州
ヨリ此ニ移ル大内家ノ臣ナリ内藤彌次郎
ナル者ノ子孫今下加茂村ニノコレリコレ
宗久家老ノ家ナリト云
天明中細川侯歸葬ノ櫬神邊ニ宿セシトキ
供回ノ人コノ内藤ノ苗裔ナル人ノ友人ト
テ備後國中ニ山塢ノ半腹ニ祠アル所友人
其カ祖先ノ居城ナリシトカ子テキキタリ

北神邊ノ古城タシカニソレトミユレハワ
ハシク問タヽシテカヘリ某ニカタリタシ
トテ本陣并ニ宿役人ニタノミシカトモ此
天神山ノ古城ヲハシレル人ナクテタヽ神
邊ノ事ノミヲ語リ神邊城主歴代ノ内ニ内
藤氏ハナシト答ヘシト云

粟根村

福山ヨリ三里八町北ニアタル村東西四町十
七間南北十四町十間東北公領本郡東中条北
山ノ二村ニ接シ西中津領百谷村ニ接シ南公
領蘆原村ニ接ス

此村半村ハ石州大森ニ隷ス

田畝

二十二町六反七畝十四歩
内畠七町七反一畝十歩

歳額

二百六十三石八斗九升二合
内畠五十一石七斗四升八合

戸口

戸二十二
口八十五
内女三十九僧二

畜

牛八

溝渠

ニワタ川

水源百谷村ヨリ出此村小川ニ合ス長四百間

小川

水源北山村ヨリ出此村ニテ加茂川ヘ入ル長

四百五十間

池塘

小池九

堰閘

堰八

山渓

谷三

嶺二

栗井峠

小池峠

ミ十東中条ニ通

廟墓

小祠四

塔寺

大林寺

天澤山禪宗佛通寺派佛通寺末寺開山千畝和尚文安年中開基ナリ和尚長禄年中ニ寂スト云

憩亭二

尾ノ上大林寺

古蹟

古城山

粟根長門守（備後古城記）

横山肥前守隆清（備後古城記天正ノ頃ナリトアリ）

一本古城記ニ草木村横山源三左衛門ト云モノ永禄ノ頃此所ニウツリ天正年中没落セシト云

下加茂村

福山ヨリ二里十四丁北ニアタル村東西十七

町南北三十二町北中津領本郡百谷村ニ接シ
東公領本郡蘆原村ニ接ス榜示二枚アリ

田畝

百四町五反三畝二十九歩
内畠三十五町八反四畝二十二歩

歳額

千百六十六石八合
内畠二百六十石二斗二升七合

戸口

戸百八十一
口七百九十二
内女三百七十八僧四外ニ穢多百二十一

畜

牛五十五馬十七

溝渠

加茂川

中野村界ヨリ上岩成村界マテ西堤長九百三
十間東堤長七百十間

宇代川

水源高山ヨリ出ッ百谷村界ヨリ中野村界マ

テ長八十間

池塘

倉田池

周八町三十八間

小池十九

堰閘

堰

大小三十三

橋彴

石梁三

山渓

嶺一

倉田峠

服部永谷ニ通ス

谷十

石二

銭亀石

百谷ニ越ス路ニアリ切割ラントスレハ血

出ルト云

岩清水

倉武八蔵ニ作ル承保元年造営社領五十貫後ニ天火ニヤケテ杉原忠興再興ス毛利ノ時三十五貫文今十三

切石ナリ此下ヨリ清水湧出ルコムカシヨリタエス明和寅年ノ大旱ニモ涸レサルユヘ村人集リテ此石ノ下ヲ堀タラハ水必飛出ルコアランカト石ヲ覆シヌソレヨリノチ三十年ノ今ニ至マテ水一滴モ出スト云

廟墓

倉大明神

辻ニアリ瀛津大己貴命五十猛神ヲ祭ルムカシハ上下二村トモニ加茂明神ヲ祭ル領地分チテノチ祠ヲ建テ生土トス

今按ニ此接近ニ家ノ前ト云所アリ倉田ト云所アリ婀娜國膽殖邑倉ノアトナルヘシ膽殖イヱト訓ス

艮大明神

丁ニアリ

明見神

宇代ニアリ

小祠二十九

古墓一

文字ミエス

塔寺

寶幢寺
法輪山真言宗廣山寺末寺

正福寺
浄土真宗光照寺末寺開基真濟ハ明光上人ノ弟子北山村ヨリココニウツルト云末寺三箇寺他境ニアリ

憩亭ニ
カシヤ辻
辻ノ傍ニ一丈ハカリノ石ニ地藏ヲ彫タル

アリユルキ地藏ト云六郡志ニ徳圓寺ト云所ノ四堂高キコト十町ハカリアリユヘニ空觀音トイフ石ニ石華穀ツキタルアリト云

コノ外 元法寺 欠迫 聖至堂 索麪屋
六齋堂等アリ今ミエス

古蹟

垣砂城
丹下與兵衛尉兼政
一本古城記ニ云宮下野守兼信ノ家老ニテ宮内合戰ノ時武功アリシ由ミユツノコ別

見

正渡山城

宮刑部入道正味

古城記ニ毛利亀路山ヲ攻抜シヰココモ落

サルト云冊下新市ニテ打死セシモソノ片

ナリ

石室

江木ト云處ニアリ奥ユキ六間ハカリモアリ

テ上下ニ壇アリ戸障子ヲ入ルヘキ溝ヲモホ

レリ石ノ間間ヲ石灰ヲモテツメシヤウニミ

ユ村中外ニモアリ

東法成寺村

福山ヨリ二里半西北ニアタル村東西十二町

五十間南北二十九町三十間

田畝

六十二町九反五畝二十九歩

内畠二十五町二反七畝十歩

歳額

六百四十三石四斗九升四合

内畠百七十九石三斗六升

戸口

戸百四十二

口六百十二

内女三百三僧五瞽五

畜

牛六十四馬十一

溝渠

本谷川

水源下加茂村吉羽ヨリ出本谷池トナリ末澗

水ヲ合シテ大池溝ニ入ル

西川

水源大谷ヨリ出大池溝ニ入末万䏻倉村砂川

トナルミナ纖流ナリ

池塘

道城谷池

今蓮池ト云周四町五間

本谷池

周五町八間

小池十一

国立公文書館
National Archives of Japan

橋彴

石梁五

圯二

山溪

嶺二

カンチヤカ峠

四坂峠

トモニ服部長谷村ニ通ス

石三

石佛

ムカシ村兒アツマリ念佛ヲ唱ヘシニ此石ウコキ出タリト云

赤石子

石工此石ヲキレハ嬰子ノ啼聲出ルト云

甲髙

此石除夜ニ雞聲ヲナスト云

廟墓

八幡宮

宮脇ニアリ東西二村ノ生土神ナリ

小祠二十三

内ニ早房明神ト云アリ品遅部雄鯽隼別王子ヲ殺セシヿアリアルハコヽニソノ靈ヲ祭シカ證ナシ

塔寺

西蓮寺

金光山浄土真宗光照寺末寺

憩亭八

原ニ　池平ニ　本谷　コンヤ　前サコ　寺

サコ

古蹟

小井城

宮兵部太輔勝信 備後古城記

一本古城記ニ尼子義久隨一ノ幕下元亀年中山名忠興小早川隆景ノ為ニ攻落サルト云

桂迫城

宮治部太輔勝岡 備後古城記

今コノ處ヲ城谷ト云

古冢

大小九所

西法成寺村

福山ヨリ二里半西北ニアタル村東西四町四十間南北十九町八間

田畝

四十三町四反六畝十五歩

内畠十三町九反三畝十九歩

歳額

四百五十八石四斗六升六合

内畠八十七石三斗九升八合

戸口

戸七十二

口三百三十五

内女百六十三瞽一

畜

牛四十八馬五

溝渠

渠川三

一ハ上溝ト云大池北樋ヨリ出万能倉村砂川ヘ入ル此村東法城寺万能倉下加茂上下岩成

六村ノ田用水ナリ一ハ中溝ト云大池下唐樋ヨリ出ツ西法城寺万能倉中島倉光江良五村ノ田用水ナリ一ハ下溝ト云大池南堀貫樋ヨリ出中島近田倉光江良四村ノ田用水ナリ

池塘

服部池

管内第一ノ大池之布地初メ十万八千歩餘今七万八千歩周廿五町廿間堤長百八間上ヨリ川流レ入テ下ハ堤之両傍ミナ山麓彎環ス大池ハ寛永二十年未十月ヨリハシメテ築キ安那品治深津沼隈小田後月甲奴神石葦田九郡ノ人足ノコラスヨセラレ正保二年十月ニ成就ス池見定メハ水野家臣神谷治部ニテ奉行ハ廣田彦右衛門長田源太左衛門普請成就マテ在村ナリ大池地鋪安那郡西法城寺村内高四十三石六斗八升一合分品治郡新山村内高四十三石五斗一升九合分永谷村内河原分コレハ高ナシ三村三十六町餘ナリツノ後年年池内埋リ元禄十二年卯ノ検地ニハ新山村十二町六反西法城寺十三町四反ニテ二十六

町トキハマル先年此處大川ニテ此村ノ内桒原牛飼トテ二ケ所ノ井手水此村ニ用ヒシユヘ五番目櫓マテ水落シ後ノ湧水タマリ水ハミナ此村ニ用ヒ来ル此池水懸リ田畝三百五十町一反二十七歩其村村東西法城寺万鮭倉上下岩成下加茂八軒屋十三軒屋十九軒屋戸手近田坊寺江良倉光中島道上徳田川北川南中津原スヘテ二十村ナリ其後年年ウツモレ永谷村分新田トナリ今ノ敷地ハ新山法城寺二村ニテ水掛リモ戸手坊寺道上徳田川北川南中津原七村ハヤミテ残リ十三村トナリ其後十ホ埋レテ享保酉年新山分四反六畝又新田トナリ安永四年八軒屋十三軒屋十九軒屋又水カヽリヲヤメテ現今十村ニテ三百町六反二畝二十四歩ノミ此水ヲ用ユ明和ノ始メ樋崩レ水落ツ修理スルヿ三度ミ十一年ヲ出スシテ崩ルモトモタモチシ所イカナル故ニヤト思ヒシニ始ノ樋ハ山石ニツク所ハ大材ヲ疊ミ上ケ堤ニ着シ所ハサハカリ堅牢ナラス是ハ堤ノ方コソ大事ナラメ山ハ崖石

ニ續キタレハサナクモタモツヘシト議シテ
ヱノ如クセサリシニヨル之ヨリテ再議シテ
崖石ノ方ヲ強クナシタレハ其後又崩レス崖
石ニ着ク方ハ水滲漏シ易ク土ニツク方ハ然
ラサレハナルヘシトヱモト法城寺池ト名ツ
クヘキヲ神谷治部服部ト名ツケシハ字ヲ拆
テハ水去成土ト讀ヘケレハ之ト云村名其時
法城寺ナリシヲ元禄ノ検地ヨリ今ノ字ニ改ム
村人久兵衛始終拮据セシユヘ池アランマテ
此池ノ事ヲ司レヨト命セラル又此池ノ魚他
所ト異ナルハ池キツカレシ始メ鯉ハ淀川鄉
ハ琵琶湖ヨリ捕来テ種ラレシ之ト云六郎志
明細書并ニ村人ノ話ヲアツメテ略シ記ス

小池六
太草池三　亀原池二　羽子池

堰二
堰閘

桑原井手
牛飼井手
二ツノ井手池中ニ入リテ今ナシ

水碓一
橋彴
石梁十四
山溪
嶺一
五綸峠
大池内桑原迫ニ通ス
廟墓
艮大明神
天田ニアリ

祇園牛頭天王
古江木ニアリ
辨才天
大池ノ峠ニアリ神谷治部鑿池ノ始メヨリ祭
リコヽニ祠ヲ建ツ
小祠十七
此内榛原ニアル十二神ハ桑原氏ノ先祖ヲ祭
ルト云藤木ト云所ノ荒神ニ根マハリ二丈ノ
椋ノ木アリ
墓三

平朝臣門田佐渡入道
平朝臣門田門彌
平朝臣門田久兵衛

此三墓ハ村ノ住人門田儀右衛門カ墓地ノ内ニアリ前二墓ハ年月見エス門田久兵衛ニハ寛文十二年二月逆修ト鐫付タリ（コノ久兵衛モト桑原縫殿〆ト云服部池ヲ穿キシ人ナリ）門田カ家ニ傳ヘシ過去帳ニテ見レハ佐度ハ久兵衛ヨリ前ニテ門彌ハ其後ト見ユイツレ上古ノ人ニハアラス今時墓トイヘハ必一同ニ戒名ト云者ヲ彫リ梵字ヲ戴カセ亦釋ノ字ヲ冠シムルナトノヿハ何頃ヨリハシマリシヤ大抵宗門ノ掟出来シ後ハ一統ニカカルヿト云ヘ𪜈左ハアラス門田カ家ハワケテ佛ヲ信シ近頃マテモ御影供ナト云法會ヲ僧ト一同ニツトムルホトノヿナルニ寛文ノ頃ノ墓カクノ如キヲ見レハ自餘ノ輩ハ勿論墓ハ必戒名ヲカクヿニモ非サルヲ見ルヘシ京ニテ公卿ノ墓ヲ見ルニ多ハ官位ト實名ヲ記サル生前入道シタル人ノミ某院ト

鐫タリ此墓スデニ入道トアレ𪜈戒名ナキヲ見レハイツレニテモ勝手ニマカセタルコシルヘシ凡墓碣ハシルシノ石ナレハ必見テシレヤスカランヲ要トスヘキニ近頃ノ墓ハ尋テモタツ子カタキモノ多シコレ實名ハカクトイヘ𪜈傍ニ小ク鐫付テ滅シヤスキユヘナリ是等ノコニツケテモ物コトムカシニ劣ルコ多シ一嘆ヲ發スヘシ

塔寺

蓮法寺

泰玄山真言宗明王院末寺

藥師堂

古江木ニアリコノ前ノ庭ニ二股ノ柿一本アリアルトキ兒戲ニ石地藏ヲ股ノ上ニアケ置シヲ数月ノ後ヲロサントスルニ樹皮ハリ出テ動カサレハソノママニシテ置内ニ年月ヲ経樹シタイニ大ニナリ地藏ノ全身股ノ中ニ没メ見エス此樹枯朽ノ後地藏股間ヨリ出ナハ人人奇異ノ思ヲナスヘキナリ世ノ不思議ト云モノカカルコ多カルヘシ

憩亭一

大草山

古蹟

古城

明細書ニ後ニ浄運寺ト云寺ト成リシ由トア
リ

森田左間（問） 備後古城記

桑原縫殿以正元

備後古城記臣ニ田和増川等アリト云一本
古城記ニハ尼子義久ニ随テ所所ニ働キ執
州ニテ討死シ子孫今長州ニアリト云

桑原迫

此所桑原某ナル浪人住居セシ跡ナリト云今
大池ノ中ニ入ル

観音寺

浄運寺トモ云堂ハ頽レテ鐘堂ノミノコル銘
ニ浄運教寺トアリ

岡ノ堂

此所ヨリ大ナル古尾出ルコアリ法城寺ト云
大刹ココニアリシニアラスヤ

古冢

大小十五所外ニ五所ハクツレ埋ル

日本政府圖書
圖書局文庫
内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan